

令和 2 年 4 月 20 日

< ワンポイント・レッスン (実践) >  
(二番底)

マーケットは、今年3月中旬に大きく売られた後、反騰に転じていますが、「二番底」という言葉をよく聞きます。底入れのパターとしては、V字型、Wボトム型、ナベ底型などがありますがV字型は、2014年10月17日を底にした反転、Wボトムは16年2月、同6月の底入れ、ナベ底型は、12年6月から同11月までの底値圏での動きなどが参考になると思います。言うまでもなく、二番底は一番底があつての二番底。一番底は08年のリーマン・ショック時の様に、①セリング・クライマックスの場面（一番底形成）の後、②リバウンドあり、③その後に景気等の回復確認までの軟調局面を経て、④景気底入れ確認で二番底を形成。⑤リバウンドでの高値を更新して上昇トレンド入りするパターン。単純にWボトムの形を形成しているのではなく、ショックからの立ち直り、景気動向など、背景があることがポイントです。一番底は、先行き不安の中、強烈なリスク回避の動きからの反転、二番底は、ショックからの立ち直りや、景気回復を本格的に買う動きに入る転換点と位置付けられます。今回のコロナショックもセリング・クライマックスの局面は終え、リバウンドから二番底模索の動きに入るとみるのが、テクニカルには一般的です。

(リーマン・ショック時の日経平均)

